

January 2024
No.100
令和6年1月18日発行

ほすぴあ

News from Kikugawa Hospital

菊川病院だより

祝

号

広報紙100号を迎えて

菊川市立総合病院の広報紙が、共立菊川総合病院時代から数えて100号を迎えました。
読者となる市民の皆さまに深い感謝とともに、今後も共に歩む喜びを分かち合い、
よりよい関係を築きながら、最良の医療提供をしていきたいと思ひます。

発行：菊川市立総合病院
〒439-0022 静岡県菊川市東横地1632番地
TEL:0537-35-2135 (代)・FAX: 0537-35-4484
URL <https://www.kikugawa-hosp.jp>



▲菊川病院HP

新年のご挨拶

VUCA (変動性、不確実性、複雑性、曖昧性) の時代と呼ばれるようになり、すでに10年以上が経過しますが、近年は気候変動だけではなく、人口動態や食糧問題においても、「これまでに経験したことがない」出来事が日々当たり前のように報道されています。未来を予測することが困難な時代においても、わたしたちは現状を分析し、計画を練り、目標を設定し、ノルマを職員に課しています。令和6年度から始まる公立病院経営強化プランは、現在このようなやり方で策定しています。持続可能な地域医療提供体制を確保するため、確かに公立病院であっても「儲ける」必要があります。

しかし、それだけでは、職員はやりがいを持って働き続けることはできません。離職につながることもすくなくあります。患者や地域、地球に対して「いいことをする」という貢献感が、この組織で働く理由として必要なのです。昨今、「パーパス経営」が一般企業においてブームとなっています。企業の「存在目的 (パーパス)」を全ての職員に浸透させ、活力を呼び起こし、成長につなげるというのが建前となっています。しかし、現実的には、経営者が勝手に盛り上がっているきれいな話と受け流され、社内にしらけムードが漂う企業も少なくありません。

本来、パーパスとは「わたしたちは何者で、何のためにここに居て、この地域で何を実現したいのか」という哲学的な問いに対する答えなのです。令和5年度の管理職・主任係長研修の中で、病院のパーパスを皆で創り上げる取り組みを行いました。病院の歴史 (ヒストリー) の上に、病院らしさという文化 (カルチャー) が築かれます。その文化を成熟させるために、病院にこだわりが生まれます。それを病院独自の価値観 (バリュー) と呼びます。経営層で病院の未来像 (ビジョン) を描きます。その未来像を自分たちの価値観で眺めてみます。自分たちが進むべき道が見えたとき、その方向が使命 (ミッション) であり、未来像を突き抜け、その先にある理想とする到達点が存在目的 (パーパス) です。

令和6年度からの経営強化プランで決めた未来像は、「急性期型地域多機能病院」です。地域の救急・急性期医療体制を堅持することと、地域住民の暮らしを支える「つなぐ医療」を実現することを、二本の柱としました。その先にある理想とする到達点 (パーパス) を、「地域の中核病院として最後の砦 (とりで) となる」という言葉で表現しました。これが、未来を予測することが困難な時代における職員たちの「北極星」になってくれることを願っています。

北極星は、常に北の空にあって動かない明るい星です。北極星を目印にすれば、いつでも方角がわかります。パーパスを自分ごと化できている組織では、パーパスは職員のすべての行動に指針を与えます。また、自らの行動を振り返る際に、パーパスとの整合性を確認することができます。職員一人ひとりが自律的に動いているように見えても、組織としてのまとまりは決して損なわれることがなく、目標とする形に自然と整っていくのです。そこでは、「いいことをする」と「儲ける」との両立が自ずと達成され、職員は自らの働く意味を見いだし、病院はこの先もずっと安定的にこの地域に存在し続けるのです。これが未来永劫にわたって正夢となることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

菊川市立総合病院 院長
松本 有司

ほろびあ No.100 きくがわ病院だより

2

菊川市病院事業 決算報告

令和4年度決算総括事項

本年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に留めるため、院長を筆頭に職員一丸となって安心安全な診療体制の確保に取り組んでまいりました。

事業全体としては、主に第四次中期計画の推進、電子カルテシステムの更新および家庭医療センターでの外来リハビリテーションの運用を開始いたしました。

第四次中期計画の推進については、将来構想・経営改善・外来体制・入院体制・地域連携・広報活動・組織体制の各ワーキング活動を多職種参加で展開し、課題の改善・解決に向けて取り組みを進めました。

電子カルテシステムの更新については、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、半導体不足の影響を受けましたが計画どおり更新作業を行うことができました。

家庭医療センターの外来リハビリテーションについては、専属の職員2名を配置し、より充実した医療提供体制を構築しております。

当院の職員体制については表1のとおり、令和3年度と比較して診療技術部2名増、看護部2名増となりました。

患者数等の状況は表2のとおり、入院では令和3年度比3,465人減の6万2,271人(1日平均165.1人)、外来では令和3年度比8,236人増の13万2,682人(1日平均546.0人)となりました。

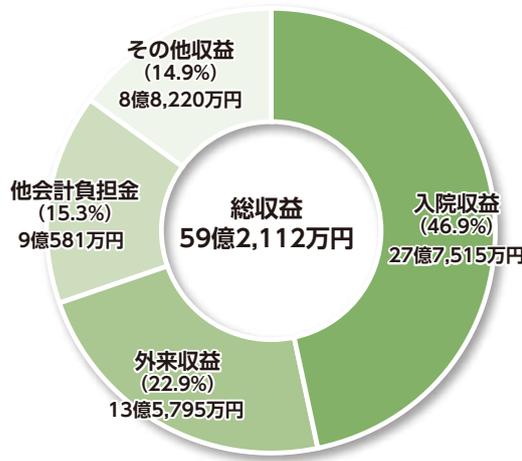
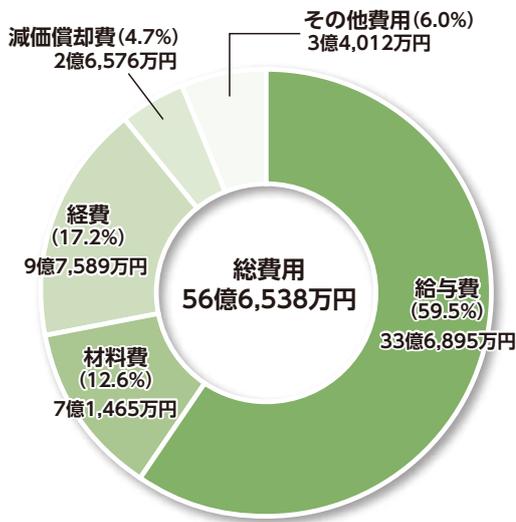
収益については、入院収益は2,564万円の増、外来収益は3,496万円の増となりましたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う国からの補助金額の減により、総収益は令和3年度比6,849万円減の59億2,112万円となりました。

表1：年度末職員数（3月31日現在）

	令和3年度	令和4年度	増減
診療部	35	35	0
診療技術部	69	71	2
看護部	167	169	2
事務部	27	27	0
計	298	302	4

表2：患者数等の状況

	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
入院延べ患者数	(人) 63,736	60,271	▲ 3,465	▲ 5.4
1日平均入院患者数	(人/日) 174.6	165.1	▲ 9.5	▲ 5.4
病床利用率	(%) 67.2	63.5	▲ 3.7	▲ 5.5
入院診療単価	(円) 43,136	45,558	2,422	5.6
平均在院日数	(日) 23.2	22.2	▲ 1.0	▲ 4.3
外来延べ患者数	(人) 124,446	132,682	8,236	6.6
1日平均外来患者数	(人/日) 514.2	546.0	31.8	6.2
外来診療単価	(円) 10,585	10,213	▲ 372	▲ 3.5



費用については、医療機器などの減価償却費は減となりました。一方、給与費、診療材料費などの材料費、経費は増となりました。結果的に総費用は1億1,631万円の増の56億6,538万円となりました。
この結果、令和4年度は2億5,574万円の純利益となりました。

【収益的収支*状況】

	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
総収益	59億8,961万円	59億2,112万円	▲6,849万円	▲1.1%
入院収益	27億4,951万円	27億7,515万円	2,564万円	0.9%
外来収益	13億2,299万円	13億5,795万円	3,496万円	2.6%
他会計負担金	8億8,585万円	9億581万円	1,996万円	2.3%
その他収益	10億3,127万円	8億8,220万円	▲1億4,907万円	▲14.5%
総費用	55億4,907万円	56億6,538万円	1億1,631万円	2.1%
給与費	33億1,632万円	33億6,895万円	5,263万円	1.6%
材料費	6億8,613万円	7億1,465万円	2,852万円	4.2%
経費	9億3,620万円	9億7,589万円	3,969万円	4.2%
減価償却費	2億7,832万円	2億6,576万円	▲1,256万円	▲4.5%
その他費用	3億3,211万円	3億4,012万円	801万円	2.4%
収支	4億4,054万円	2億5,574万円	▲1億8,480万円	-

【資本的収支*状況】

	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
資本的収入	5億817万円	7億4,483万円	2億3,666万円	46.6%
企業債	1億6,610万円	4億4,200万円	2億7,590万円	166.1%
他会計出資金	2億6,415万円	2億7,094万円	679万円	2.6%
国県補助金	7,792万円	3,189万円	▲4,603万円	▲59.1%
寄附金	-	-	-	-
固定資産売却代金	-	-	-	-
資本的支出	8億635万円	9億8,406万円	1億7,771万円	22.0%
建設改良費	2億2,858万円	4億3,421万円	2億563万円	90.0%
企業債償還金	5億7,777万円	5億4,685万円	▲3,092万円	▲5.4%
長期貸付金	-	300万円	300万円	-
収支	▲2億9,818万円	▲2億3,923万円	5,895万円	-

*収益的収支…経営によって生じる収益(主に診療報酬)と費用(主に給与費、材料費など)を指します。

*資本的収支…施設や医療機器を整備するためのもの。収入は企業債や他会計出資金など、支出は医療機器の購入や企業債の償還金などを指します。

菊川市立総合病院 令和6年1月の外来診療担当医表

受付時間 8:00～11:00 (土、日、祝日は休診)

2023年12月31日現在

区分		月	火	水	木	金	特記事項			
内科	午前	初診	丸山 正隆 石橋 るり	△熊澤 あず美 △岩泉 守哉	富永 宏睦 △淺井 雄介	望月 優作 鈴木 崇弘	△美崎 昌子 山田 健太	<ul style="list-style-type: none"> 初診は原則紹介患者さまのみ 内分泌・呼吸器・腎臓(火曜日以外)内科の初診は、当日、初診担当医師が診察いたします。 午後再診は予約患者さまのみ 診療日 11日、25日 事前問合せ 		
			再診	消化器	山田 健太	二見 肇	石橋 るり		石橋 るり	二見 肇 鈴木 崇弘 △釣谷 大輔
				内分泌	△古橋 一樹	△山下 美保			△井上 裕介	
	午後	再診	循環器	富永 宏睦 △熊澤 あず美	松本 有司 望月 優作	松本 有司 △熊澤 あず美	富永 宏睦			
			血液				杉本 雄哉			
			腎臓		高橋 聡					
	リウマチ科	午前	再診	熊澤 あず美 (ベースメーカー外来)	山下 美保	杉本 雄哉	内分 釣谷 大輔 高橋 聡			
			予約制	△増永 陽平	中島 隼也	中島 隼也	△大橋 弘幸 井上 裕介		中島 隼也	
	小児科	午後	初・再診 初・再診 特殊外来 (予約制)		心身医療外来(初診) 中島 隼也	13:00～乳児健診 △川上 領太	心身医療外来 中島 隼也		心身医療外来(第1・3週) 中島 隼也 神経外来(第2・4週) △鈴木 輝彦	<ul style="list-style-type: none"> ウチナンボなどの曜日でも接種可能(事前予約制) (金)神経外来 12日、26日
				初・再診			△鮫島 哲朗			(木)受付8:00～14:00
脳神経外科										
外科	午前	初診	阿久津 友洋	△井田 進也 (10:00～11:00)	内山 隆	中村 光一 △武田 真	中村 光一	<ul style="list-style-type: none"> (月・水・金)初診受付 8:00～10:00 火・金の内山医師の再診は完全予約制です 乳腺初診電話予約 15:00～16:30 		
			再診	内山 隆 中村 光一	(完全予約制) 阿久津 友洋 中村 光一	阿久津 友洋	内山 隆		内山 隆 (完全予約制)	
			処置	阿久津 友洋					阿久津 友洋	
	午後	予約制			静脈瘤外来(偶数週)					
		予約制								
心臓外科	午前	初診	栗原 亨高	飛鳥井 光(第1・3・5週) 森下 平太(第2・4週)	中村 光志	森下 平太(第1・3・5週) 南波 光洋(第2・4週)	村井 玲那			

院	整形外科	再診		中村 光志 村井 玲那	飛鳥井 光(第2・4週) 村田 英之	飛鳥井 光 栗原 亨高	(第2・4週) 森下 平太	鈴木 泰介	2F 麻酔科診察室
		特殊外来	再診						
		特殊外来	特 殊 外 来	又ポーツ外来・装具					初診は原副紹介のみ 事前予約のみ (火) 14:00～16:00まで
		再診	再 診	南波 光洋(第1・3・5週) 中村 光志(第2・4週) 栗原 亨高	森下 平太	阿部 雅志 中村 光志(第1・3・5週) 南波 光洋(第2・4週)	飛鳥井 光 村井 玲那	鈴木 泰介	• 又ポーツ外来(月・水)午後 初診受付:14:00～16:00 (当日受付可) • 乳児股関節外来 12:30～ (予約制)
		ペインクリニック	予 約 制		木村 健				
		泌尿器科	初・再診		△田村 啓多	鈴木 泰介			
		形成外科	予 約 制		△瀧口 徹也				• 電話予約受付15:00～16:30 • 初診受付要電話予約
		産婦人科	① 診	△岩田 智子	△平井 久也	△平井 久也	△柴田 俊章	城向 賢	• 2ターク又前期 第2月曜日 • 2ターク又後期 第3火曜日 • 母乳外来希望の方は当日 婦人科を受診してください
			② 診	山田 智子	城向 賢	△岩田 智子	山田 智子	山田 智子	山田 智子
		午後 特殊外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	母乳外来	
		耳鼻咽喉科	初・再診		△佐原 聡甫		△瀧澤 義徳		
		皮膚科	初・再診	△藤山 俊晴 /△島内 隆寿	△影山 玲子		△小倉 康晶 (奇数週のみ) 初診は～10:30まで	△鈴木 健晋	(月)藤山Dr 15日、29日 島内Dr 22日 (木)4日、18日
			大城 将也/山口 潔乃 △黒宮 恵 △天津 団	山口 潔乃 能登路 拓也	大城 将也 △長谷川 美沙紀 △田中 徹	大城 将也 △小倉 康晶 (奇数週のみ) 初診は～10:30まで	大城 将也 △鈴木 健晋	山口 潔乃 能登路 拓也	
		精神科	初・再診				二見 肇		
		健診センター	予 約 制	久保田 修	久保田 修	△三野 暢哉 △久保田 修	久保田 修	久保田 修	

家庭医療センター	内 心 科 小 児 科 外 科 形 容 科 皮 膚 科	区分		月		火		水		木		金		特記事項
		午前	午後	初	再診	松田 真和 城向 賢	松田 真和 潘 鎮敬・小林 駿介	松田 真和 稲葉 史明・樋口 智也	津田 司・潘 鎮敬 小林 駿介・小幡 健太	松田 真和 稲葉 史明・森田 修平	津田 司 稲葉 史明・小林 駿介	津田 司 松田 真和 潘 鎮敬・小林 駿介	受付 8:15～11:00	
		午後	初・再診	松田 真和 城向 賢・小林 駿介	稲葉 史明 小林 駿介	松田 真和 潘 鎮敬・小林 駿介	津田 司・潘 鎮敬 小林 駿介・小幡 健太	松田 真和 稲葉 史明・樋口 智也	津田 司・潘 鎮敬 小林 駿介・小幡 健太	津田 司 稲葉 史明・森田 修平	津田 司 松田 真和 潘 鎮敬・小林 駿介	受付 8:15～11:00	• 受付 13:00～16:30 • 毎週木曜PM休診	

- 医師の異動などにより、予告なく変更することがあります。お電話にてお問い合わせください。
- 予約変更時間 15:00～16:00 (各科にお問い合わせください)
- 入院患者さま面会時間 14:00～20:00
- 「△」印は非常勤医師を表します。
- 緊急手術や、学会等への出席のため、担当医師の変更や休診する場合がありますので、ご確認ください。
- 他の医療機関から当院へ受診される方は紹介状をご持参ください。
- 内科以外の初診については、紹介以外でも受付が可能です。
- 11:00以降の時間内救急は担当者が状態をお聞きした上で緊急を要する方のみ診療となります。

お問合せ先

TEL 0537-35-2135 (代表)
FAX 0537-35-4484

地域医療支援課 / TEL 0537-35-2344 ・ FAX 0537-35-2843
健診センター / TEL 0537-36-5585
家庭医療センター / TEL 0537-73-2267 ・ FAX 0537-73-5557

その下痢、コロナ？

内科（消化器） 鈴木崇弘

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、味覚・嗅覚障害や発熱・咳・鼻汁・咽頭痛などのいわゆる感冒症状を呈しますが、重症時には肺炎を発症し死に至ることもある病気です。呼吸器系症状以外にも、消化器症状は 15～50% と高い頻度で認められます。



主な消化器症状は、下痢、腹痛、悪心・嘔吐、食思不振で、特に下痢は COVID-19 患者の 40% に認められるという報告もあります。発熱や咳嗽といった呼吸器系症状が中心にあり、そこに下痢などの消化器症状も同時にあるケースが多いですが、消化器症状を主訴に来院し、COVID-19 と診断されることも珍しくありません。

COVID-19 による消化器症状と、他のウイルスや細菌などによって引き起こされる同様の症状は新型コロナウイルス（SARS-CoV2）の検査以外で見分けることができないので、普段から注意すべきことが2つあります。

1 つ目は、COVID-19 かどうかにかかわらず、排泄物や吐瀉物の中には病原体が多く含まれ、周囲の人へ感染を拡げる原因となってしまいます。家庭内でも排泄物や吐瀉物を処理する際は、手袋・マスクを着用し、手袋を外した後には手洗いをするのが大切です。特に COVID-19 では呼吸器症状が治った後でも、便からのウイルス検出が持続することが報告されており、注意が必要です。

2 つ目は、COVID-19 の流行状況、周囲での感染者の有無、そして自身に消化器系以外の症状があるかを総合的に考えて、医療機関への相談や受診を検討することです。COVID-19 が流行している時期に周囲に感染者がいて、下痢の症状が出現し、咳などの感冒症状もあるとなれば、COVID-19 の可能性は高くなります。一方で、感染者の流行が落ち着いている時期に、周囲に感染者がいない中で出現した下痢単独の症状については、COVID-19 以外の感染症である可能性が高くなります。

COVID-19 で消化器症状がよく出現することを知っておき、流行状況や周囲の感染者の有無、呼吸器症状の合併などから総合的に判断していくことが大切です。

そして、何よりも手洗いを徹底することが、感染しない・させない一番の方法になります。



病理標本の作製について



臨床検査科 大澤康宏

内視鏡検査や手術などで採取された検体を、顕微鏡で観察できる“標本”にするためには、いくつかの工程を経る必要があります。

検体をとってから標本になるまでの流れ



①固定

採取された検体は生のままだと腐ってしまうため、ホルマリンという薬品に1日以上漬け込み、たんぱく質を安定させることで腐敗を阻止させます。

②切り出し・脱水・脱脂・パラフィン浸透

検体はホルマリン固定後のままでは柔らかく、薄くスライスすることができないため、ロウソクの蠟と同じ性状で熱すると液体状になり、冷却すると固まるパラフィンというものを使います。検体を専用容器に入るサイズにカット(切り出し)し、専用容器の中に検体を入れた後、1日以上かけて専用の機械を使って、脱水・脱脂操作・パラフィン浸透作業を行います。

③包埋・薄切

パラフィンが充分浸透した検体を機械から取り出し、専用容器から検体を型に移し替え、溶けたパラフィンをそっと型に流し入れます(包埋)。その後、冷えて固まった検体入りパラフィンを型から取り外します。パラフィンで固まった検体をマイクロームといわれる器具で、3μmの極薄にスライスします(薄切)。

④染色

極薄にスライスされた検体を、スライドガラスに載せた後に、特殊な染色液で染めたら、顕微鏡で観察できる“標本”の完成です。

このように、病理標本作成のためには、いくつかの操作が必要になってきます。そのため、検体が提出されて、病理標本が出来上がるまでには、提出された日を入れて、最短でも3日程度かかります。その後、週に1回来院される病理医による診断が行われ、病理結果として報告が完了します。



INFO

1

当院で出産される方はぜひご利用ください

菊川市立総合病院オリジナル出生届のデザインが決定しました

令和5年7月から9月にかけて、当院オリジナル出生届のデザイン公募を実施しました。その結果、県内だけでなく、県外の方からも応募があり、その中からデザイン3点を選ばさせていただき、決定しました。(下記画像参照)

今後はこれらのデザインを使用し、オリジナル出生届として、当院で出産をされる方が使用することができます。出産の記念として、ぜひ利用していただければと思います。

※右記から病院ホームページに詳細等を掲載しています。



▲採用されたデザイン3点

INFO

2

楽しく美感！医療を体験！！

市民交流プログラム「院内体験ツアー～菊川病院で菊ッザニア!?～」を開催しました

11月3日、令和5年度市民交流プログラム「院内体験ツアー～菊川病院で菊ッザニア!?～」が開催されました。親子で当院のことや病院の仕事について興味をもってもらうために、企画し初開催したものです。市内の小学4・5年生親子10組が参加し、普段はなかなか見ることのできない院内の見学をしたり、医療職が行っている業務の一部を模擬体験したりしました。



▲真剣な眼差しで縫合体験

INFO

3

あなたの力を当院で活かしませんか？

看護師（正職・会計年度任用職員）・看護助手募集中

当院では、看護師・看護助手を募集しています。詳細は下記から確認をお願いします。

応募・問合せ

菊川市立総合病院 病院総務課 (☎0537-35-2130)



▲看護師（正職）



▲看護師
(会計年度任用職員)



▲看護助手
(会計年度任用職員)



地域連携つうしん(医療機関向け)

地域連携・福祉相談係では、近隣開業医、近隣病院向けに「地域連携つうしん」を発行しています。当院の特徴ある診療内容や新しい機器の導入、更新情報などを発信しております。

今回の特集内容は、令和5年12月号「Mother killer」と呼ばれる子宮頸がん撲滅に向けてです。ご興味のある方は、ぜひご覧ください(右記から閲覧できます)。



▲閲覧はこちらから